

ノートパソコンのバッテリー節約の方法

Windows 10 では、さまざまなアプリがバックグラウンドで動作しています。特に操作をしていなくても、アプリの最新の状態を維持したり、更新情報を受信して通知したりできるようにするためです。便利な機能ですが、場合によっては邪魔になることもあります。

このバックグラウンドで動作しているアプリがバッテリーを消費していることで、バッテリーの持ちが悪くなることも考えられます。

また、バックグラウンドでアプリが動作することで、ワードやエクセルの動作を遅くする要因にもなっています。

「設定」の「プライバシー」⇒「バックグラウンドアプリ」でバックグラウンド動作のオン・オフがアプリごとにできます。許可済みのアプリ一覧から、バックグラウンド動作が不要なアプリをオフにすればいいです。「アプリのバックグラウンド実行を許可する」というスイッチがあるのですべての動作を止めるオプションも用意されています。外出時などにまとめてオフにすることができます。

手順

1. 「設定」をクリックし「プライバシー」をクリックします



2. 左のメニューを下にスクロールします



3. 「バックアップ アプリ」をクリックします



4. すべてのバックグラウンド アプリの動作を止める場合は、「アプリのバックグラウンド実行を許可する」の下にある「スイッチ」を「オフ」にします。

個々のアプリのバックグラウンド動作を止める場合は、アプリの一覧表から動作を止める個々のアプリの横にある「スイッチ」を「オフ」にします。

個々のアプリのスイッチをオフにしている場合、すべてのアプリを止めるための「スイッチ」をオフにして、改めて「オン」にしても。個々のアプリのスイッチは「オフ」のままになっています。

家などの電源を確保できる場所で使用するときには、個々のアプリのみを「オフ」にしておき、外出などで電源が確保できない場所で使用するときには、バッテリーの消耗を防ぐため、すべてのアプリを「オフ」にしておくことができます。

